

宇美町

エコトリコ

(2016年広報7月号)

「地球温暖化防止というテーマではスト、異常気象が続く環境下で生活するケールが大きすぎて、身の回りのこと ことになる事が懸念されてるのです。」

としてピンとこない人が多いのでは？」と聞いたことがあります。私たちが住んでいる宇美町での経験ですが、50年ほど前に海拔60mくらいの原田に住んでいたところ、毎年冬季には雪が降り、多い年は30cmくらい積もって、子ども一人が入るくらいのかまくらを作った思い出があります。地図の等高線上での確認(宇美町役場環境課調べ)ですが、役場は海拔40mくらいに建っており、極楽寺バス停付近は海拔80mくらいです。役場付近に数cm雪が積もっている時は只越え峠や障子岳付近ではチエーンを巻かないと車は走れないほどで、わずかの違いで環境は大きく違ってきます。

近年、夏季に最高気温が35℃を超える「猛暑日」が増え、30℃くらいでは涼しかった?と思えるほどです。半袖の服を着る期間が長くなっているようにも思えるし、その反面、「春と秋が短くなった」という声もよく聞きます。地球温暖化は身の回りのこととして全世界が感じていることなのです。CO2濃度の上昇は気温の上昇とリンクしています。このままのペースでいくと50年後、100年後に生活する人たちは今を生きる私たちからする



文責

福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆

